imagination at work

取扱説明書

GE デジタルカメラ

Cシリーズ： C1440W

準備

基本操作

カメラ機能コントロール

再生

メニューを使用する

カメラ接続

付録

JP

警告

火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

米国の顧客の場合

FCC基準に準拠

家庭または事務所で使用する場合

FCC声明

本製品は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

ヨーロッパの顧客の場合

「CE」マークは本製品が安全、健康、環境および顧客保護に関して欧州要件に準拠していることを示しています。「CE」マークの付いたカメラはヨーロッパでの販売を意図しています。

WEEE. [(コマ付きのごみ箱と×印WEEE補遺IV)]の記号は、EU諸国において電子、電気機器が分別収集されることを示しています。機器を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。本製品の廃棄についてはお住いの自治体の条例に従ってください。

モデル名：C1440W

商標名：GE

責任団体：General Imaging Co.

住所：1411 W. 190th St., Suite 550, Gardena, CA 90248 USA

電話番号：+1-800-730-6597

(アメリカとカナダ以外の場合： +1-310-755-6857)

安全のための注意事項

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが高いと想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は注意を促す内容を告げるものです。

🛇 この記号は禁止の行為を告げるものです。

カメラの取扱いについてのご注意

⚠警告

🛇 分解や改造しないこと

感電したり、けがをするおそれがあります。

🛇 落下などで破損し内部が露出したときは、露出部に手を触れない

感電したり、ケガをする原因となります。

🛇 水につけたり、水をかけたり、雨に濡らさないこと　（防水カメラを除く）

火災、感電の原因となります。

⚠ カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切り電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 煙が出る、異臭がするなどの異常が発生したときはすみやかに電池を取り出す

そのまま使用すると、やけどや火災の原因になります。

電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。

🛇 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在する恐れのある場所では使用しない

引火、爆発の原因となります。

🛇 フラッシュを人の目（特に乳幼児）に近付けて発光しないこと

視力障害の原因となります。

⚠ 幼児の手の届かないところに保存すること

ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ や電池などの小さな付属品を誤って飲み込むと危険です。万一飲み込んだときはただちに医師の診断をうけること。

🛇 指定外の電源は使わない

火災や感電の原因となります。

⚠注意

🛇 ぬれた手でカメラを操作しない

感電の原因になることがあります。

⊘ 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 長期間使用しないときは、電池を外して保管すること

電池の液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。

⚠ 航空機内で使うときは、離着陸時の電源をOFFにすること

本機器が出す電磁波により、航空機の計器に影響を与えるおそれがあります。

⊘ 付属のCD－ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり、ヘッドフォンなどを使用したときは、大音響により聴力障害の原因となります。

電池についてのご注意

⚠ 危険

⚠ 使用中に本体が過熱するときは、すぐにカメラの電源を切り、電池を取り出してください。充電中に電池が過熱するときは、電源を切り、電池を取り出してください。

⊘ 電池を火の中に投下したり、加熱しないこと

液漏れ、破裂、火災の原因となります。

⊘ 電池をショート、分解しないこと

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 専用の充電器を使用すること

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⊘ 電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない

ショート、発熱し、火傷やけがの原因となります。

⚠ 電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診断をうけること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告

⊘ 水につけたり、端子部を濡らさない

液漏れ、発熱の原因となります。

⚠ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する

液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

⊘ 外装にキズや破損のある電池は使用しない

破裂、発熱の原因となります。

⊘ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない

破裂、液漏れの原因となります。

⚠ 電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 注意

⚠ 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく

液漏れ、発熱により、火災、ケガの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 警告

🛇 充電器を分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

🛇 落下などで破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

⚠ 本体が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常時は速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

⚠ 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でふき取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。

🛇 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となります。

🛇 海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）などの電源に接続して使わないこと発熱、故障、火災の原因となります。

⚠ 注意

🛇 濡れた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

🛇 充電器を布などで覆った状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

電源プラグを抜かないで行うと、感電、ケガの原因となることがあります。

🛇 メモリーカードの取り出しは必ずカメラの電源をオフにしてからおこなってください。若しオンの状態で取り出すとメモリーカードを破損させる原因になります。

🛇 プログラム（F/W）をアップグレードする時は、カメラの電源をオフにさせないでください。不完全なデータや画像がこわれます。

🛇 メモリーカードの挿入は、よくカードスロットを見ながら慎重におこなってください。メモリーカードを乱暴に取り扱うことは禁止です。

使用前に

序章

GEデジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをしっかりお読みになり、今後のため、本書は安全な場所に保管してください。

著作権

商標

本書に記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。

安全に関する情報

カメラに関するご注意

- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わると、カメラ内部に結露が生じることがあります。カメラの電源を入れる前にしばらくお待ちになることをお勧めします。
- 寒冷地域では、電池の性能が低下し、使用できる時間も大幅に短くなります。
- 電池やメモリーカードの取り付けや取り外しの前に、カメラの電源をオフにしてください。
- カメラの清掃に、研磨剤入り洗剤、アルコールベース、または溶剤ベースの洗浄剤を使用しないでください。カメラは軽く湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 結婚式や海外旅行など大切な撮影の前には必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。
- カメラまたはメディアの機能不良により記録した写真を再生できない場合、記録した写真の損失や撮影に要した諸費用及び利益損失等に関する損害などの賠償は致しません。

- カメラ内部に水や異物が浸入したときは、すぐに電源を切り電池とメモリーカードを取り出して、販売店或いはサービスステーションにご相談ください。
- レンズをさわらないでください。
- カメラが、低温環境から高温環境に変わるとき、結露の生ずることを避けるため、カメラをすこし寒いエリアでしばらく置いてから、室温環境まで徐々に移してください。
- カメラを凹凸のはげしい場所に置かないでください。

メモリーカードに関するご注意

- 新しいメモリーカードを使用するとき、またはメモリーカードがPCで初期化された場合、ご使用の前にお使いのデジタルカメラでメモリーカードを必ずフォーマットしてください。
- 画像データを編集するには、画像データをPCのハードディスクにコピーし、その後ファームウエアをアップグレードする場合はメモリーカードをフォーマットしてください。
- PCでメモリーカードのディレクトリ名、またはファイル名を変更または削除しないでください。カメラでカードが使用できなくなる原因となります。

本マニュアルについて

本マニュアルには、GEデジタルカメラの使用法に関する取扱説明が記載されています。本マニュアルの内容は正確を期してあらゆる努力が払われていますが、General Imaging Companyでは内容を予告なしに変更する事があります。

本マニュアルで使用される記号

情報を素早く簡単に探せるように、本マニュアルを通して次の記号が使用されています。

 知っていると役に立つ情報を示します。

 カメラを操作している間に取るべき注意事項を示します。

目次

基本操作....................29

準備をする

付属品一覧

パッケージにはご購入されたカメラ、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。

保証書

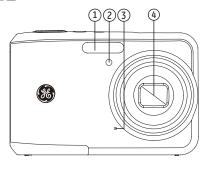
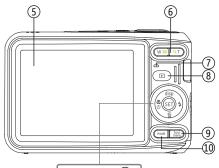
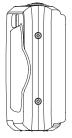
CD-ROM (Optional)

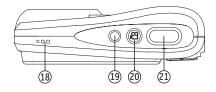
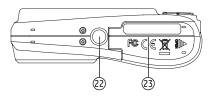
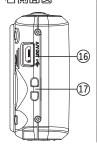
リストストラップ

USBケーブル

単三形アルカリ電池

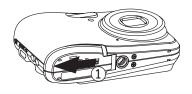
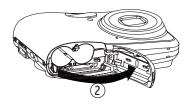
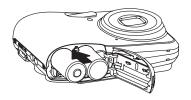
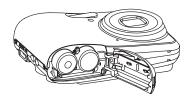
カメラの外観

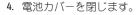
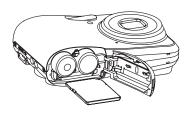
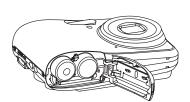
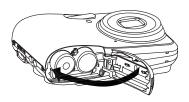
正面図

背面図

左側面図

上面図

底面図

右側面図

1	フラッシュ	13	消去/機能ボタン下
2	AFアシストビーム/タイマーインジケーター	14	ｾﾙﾌﾀｲﾏｰ/マクロ/機能ボタン左
3	マイク	15	SET ボタン
4	レンズ（バリア）	16	USB/ AV端子
5	液晶モニター	17	ストラップ取付部
6	ズームボタン	18	スピーカー
7	電源ランプ	19	電源ボタン
8	再生ボタン	20	動画ボタン
9	メニューボタン	21	シャッターボタン
10	モード選択ボタン	22	三脚ねじ穴
11	disp./機能ボタン上	23	メモリーカード/電池収納部
12	フラッシュモード/機能ボタン右		

電池と、オプションのSD/SDHCメモリーカードを挿入する

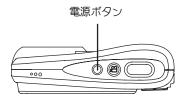
1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて開きます。

2. 電池のプラスとマイナスを確認しながら、電池を挿入します。

3. 図に示すように、SD / SDHC カードをメモリーカードスロットに挿入します。

4. 電池カバーを閉じます。

SD/SDHC カードは別売です。信頼できるデータ保存のためには、SanDisk、Panasonic および Toshiba などの推奨された製造元の、64MB～32 GB のメモリーカードの使用をお勧めします。

SD/SDHC カードを取り外すには、電池カバーを開き、カードを一度奥に向かって押し込んでそのままゆっくり戻します。カードを慎重に引き出します。

電源をオン/オフに切り換える

カメラの電源ボタンを押して、オンにします。カメラの電源をオフにするには、電源ボタンをもう一度押します。

カメラの電源を入れると、最後に使用した時と同じ撮影モードになっています。mode ボタンを押して、撮影モードを選択することができます。

日時と言語の設定

初めてこのカメラを使用する時、まずセットアップメニューで言語と日時を設定してください。

「一般的なセットアップ」を表示させるには、次の手順でおこないます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. func menu ボタンを押し、上/下ボタンで設定メニューを選択し、SET ボタンを押します。

言語設定

1. 設定メニューで、上/下ボタンを押して言語を選択し、SET ボタンか右ボタンを押してください。
2. 機能ボタン上/下/左/右を押して、言語を設定します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

日時設定

1. 設定メニューで、上/下ボタンを押して日/時刻を選択し、SET ボタンか右ボタンを押してください。
2. 日付の表示モードを選択するには上/下ボタンを押し、右ボタンで変更する年月日を選択します。
   上/下ボタンで値を合わせます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

液晶モニターに関するご注意

カメラをオンにすると、液晶モニターにさまざまなアイコンが表示され、現在のカメラ設定とステータスを示します。表示されたアイコンの詳細については、17ページの「液晶モニター画面表示」を参照してください。

液晶モニターに関するご注意:

液晶モニターの製造に当たっては、ほとんどのピクセルが操作するように、きわめて高い精度のテクノロジが使用されています。しかし、液晶モニターにいくつかのきわめて小さな点（黒、白、赤、青または緑)が常時表示される場合があります。これらの点は製造プロセスでは通常のことであり、記録された写真に影響を与えることはありません。

液晶モニターが水で濡れることを避けてください。濡れてしまった時は、清潔な、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

液晶モニターが損傷した場合、モニターの液晶には特別な注意を払ってください。次の状況が発生した場合、直ちに以下の措置を取ってください。

- 中の液晶が皮膚に触れた場合、布で拭き取り石鹸と流水でよく洗ってください。
- 液晶が目に入ったら、きれいな水でその目を15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
- 液晶を飲み込んだ場合、口を水でよくすすぎ、ただちに医師の診察を受けてください。

表示設定

disp ボタンを押してモードアイコンの表示を変更することができます。

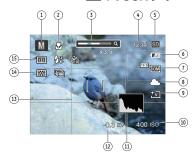
部分的表示：使用中のアイコンを表示します。

全表示：すべてのモードアイコン、ヒストグラム、グリッド線を表示します。

表示なし

液晶モニター画面表示

静止画撮影モード表示

撮影モードアイコン： [camera] M SCN [panorama]

1 撮影モードアイコン（自動モード）

[camera]	自動モード	M	手動モード
SCN	シーンモード	[panorama]	パノラマモード

2 マクロモード表示

3 ズームインジケーター

4 撮影可能枚数

5 メモリーカード/内蔵メモリー表示

6 電池残量表示

7 静止画画像サイズ

8 ホワイトバランス
（M モードでのみ使用可能）

9 色彩
（M モードでのみ使用可能）

10 ISO感度
（M モードでのみ使用可能）

11 ヒストグラム

12 露出補正
（ **M** モードでのみ使用可能）

13 AFフレーム

14 測光方式

AiAE

15 AFモード

シングル AF

マルチ AF

16 フラッシュモード表示

発光禁止

自動発光

強制発光

スローシンクロ

スローシンクロ+赤目軽減

赤目軽減

17 セルフタイマー表示

2秒

10秒

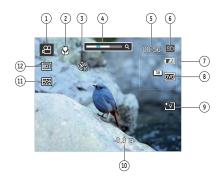
スマイル

18 連写

1 枚

連写

動画撮影モード表示

撮影モードアイコン:

1　撮影モードアイコン
2　マクロモード表示
3　セルフタイマー表示

 10秒

4　ズームインジケーター
5　撮影可能時間
6　メモリーカード/内蔵メモリー表示
7　電池残量表示
8　動画画像サイズ
9　色彩
10 露出補正
11 測光方式

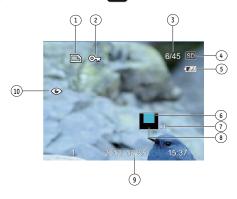
 AiAE

12 AFモード

動画の撮影には、最高の画質を得るためにClass 4 以上のSDカードの使用をお勧めします。カメラの内蔵メモリーには制限があり、時々画像が途切れてノイズが発生し、画質の低下を招きます。

光学ズームとデジタルズームを調整することができます。デジタルズームは6倍(合わせて24倍)に調整できます。

再生モード表示

再生モードアイコン: ▶

1 DPOF 印刷
2 保護
3 画像番号/総画像数
4 メモリーカード/内蔵メモリー表示
5 電池残量表示
6 画面位置表示（案内マーク）
7 画像の倍率
8 縮小液晶モニター
9 撮影日時
10 赤目軽減

画面の切り替え表示

disp.ボタンを押して、画面の表示内容を変更することができます。

再生モード ▶

再生モードのときにdisp.ボタンを押して、3種類の画面表示に切り換ります。

機能の情報表示　詳細の情報表示　情報表示なし

モードボタンの使用

GE カメラでは撮影シーンに応じて簡単に切り換えることができるモードボタンが付いています。使用可能なモードについては、下記の一覧で説明します。

モード名	アイコン	説明
自動モード		このモードでは誰にでも簡単に静止画を撮影することができます
手動モード	M	このモードに切り換えると、手動でカメラの設定を選択して静止画を撮影できます
シーンモード	SCN	23 種類のシーンモードから選択して、自動的に最適な設定で静止画の撮影ができます
パノラマモード		このモードに切り換えると、連続撮影した画像をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真にします
動画モード		このモードに切り換えると、動画撮影ができます

自動モードでの撮影

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

自動モードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. オートモードを選択するには **mode** ボタンを押して を選択して SET ボタンを押します。
2. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
3. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
4. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

手動モード M

M 手動露出モードを選択すると、手動でEV / ISO / を手動で設定することができます。

1. 手動露出モードを選択するには **mode** ボタンを押して M を選択し SET ボタンを押します。

2. さらに SET ボタンを押して機能ボタン上/下で露出値とISO 感度を変えることができます。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

パノラマでパニング撮影

パノラマモードでは、パノラマ写真を作成します。カメラは撮影した個々の画像で、パノラマ写真を自動的に構成します。

パノラマモードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. パノラマモードを選択するにはを mode ボタンを押し、 を選択し、SET ボタンを押します。

   ·

2. 撮影方向を選択するには左/右ボタンを押して、2 秒後に撮影モードに入ってからシャッターボタンを押してください。
3. 液晶モニターで構図を決めてから、シャッターボタンを押し最初の一枚を撮影します。撮影が終了すると画面には、 合成フレームと画面端に ターゲットフレームが表示されます。
4. 一枚目の画像につなげるようにカメラを移動させて、 合成フレームの中心を ターゲットフレームの中心に合わせると、自動的に、二枚目が撮影されます。この手順を繰り返して撮影します。同じ手順を繰り返して4枚までの写真を取ることができます。

5. 写した画像が4枚以下の場合、SET ボタンを押すと自動的に連続写真になります。再生ボタンを押して効果を確認することができます。
6. 写真を4枚撮影した場合、カメラが自動的に継ぎ合わせます。再生ボタンで効果を確認することができます。

パノラマ写真撮影中に SET ボタンを押して、画像を保存し、撮影を終了します。消去/機能ボタン下を押して、保存せずに撮影を終了することもできます。

オート全景撮影中、LCD画面に「照準外です。もう一度やり直してください。」のメッセージが出ると、カメラは移動中の角度がグリーン基準線を外して撮影失敗し、撮影し直してくださいという意味です。

パノラマモードで、画像サイズが3Mに設定されている場合、最大4枚の写真を撮影することができます。

シーンモード(SCN)

シーンモードでは、状況に合わせて合計 23 種類のシーンから選択できます。場面に適したシーンを選択するだけで、最適な撮影ができます。

1. シーンモードを選択するには **mode** ボタンを押します。液晶画面は、次の図のように表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、撮影に適切なシーンモードを選択します。**SET** ボタンを押して、設定を確定します。

モード名	説明
Auto SCN	自動的にシーンを識別し、人、逆光の人物、風景、マクロ、夜景、夜景と人物などに適した撮影をします。
風景	風景の撮影では、緑色と青色が鮮やかに表現できます。
スポーツ	動きの速い被写体をぶれずに撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で綺麗な写真を撮ります。
夕日	夕日を撮影する際、赤色と黄色が鮮やかに表現できます。
花火	夜景や花火の撮影には、シャッター速度を遅くして鮮やかな画像を再現します。（三脚の使用を推奨します）
夜景	夜景を撮影します。（三脚の使用を推奨します）
雪	雪景色を撮影する際、見たままの白を表現します。
子供	障害を避けるため、自動的にフラッシュの発光を禁止します。子供の写真を撮るのに適しています。
IDカード	証明書をはっきりと撮ります。
ガラス越し	透明なガラスの背後の被写体を撮影します。
フォトフレーム	おもしろいフレームを加えます。

モード名	説明
流し撮り	速く移動する被写体をはっきり、背景は流れるように撮影します。
資料	白地の印刷物などの文字を鮮明に写します。
ポートレート	顔用のAE/AFにより、ポートレート撮影に最適です。
魚眼	魚眼効果を強調した面白い写真が写せます。
パーティ	室内のパーティー会場などで、複雑な照明のもとで人物像を自然に撮ることができます。
屋内	室内撮影用です。背景や周辺を鮮明にします。
植物	植物を撮影する際、緑が鮮やかに表現できます。
博物館	博物館やフラッシュが禁止されている場所でも明るく写ります。
夜景ポートレート	人物の顔は明るく、夜景もキレイに写します。
スケッチ	鉛筆画効果の写真を撮ります。
ブレ軽減	手ぶれによるボケを軽減します。

Auto SCN

ASCN モードでは、カメラがさまざまな撮影条件に合ったシーンを自動的に認識して、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせを決めシャープで鮮やかな画像を撮影します。

アイコン	モード名	アイコン	モード名
	風景		夜景
	ポートレート		マクロ
	夜景ポートレート		自動
	逆光のポートレート		

1. mode ボタンでSCNモードを選択し SET ボタンを押します。そして上/下ボタンで ASCN 機能を選択します。液晶画面に図のように表示されます。

2. カメラを被写体に向けると撮影シーンを自動的に判別して、最適なモードを選択します。
3. シャッターボタンを軽く半押しして、被写体の中央にピントを合わせます。
4. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

「ASCN」モードでは、カメラが0.5秒ごとに自動的に撮影シーンを判別して、最適なシーンで撮影ができます。

モード名	説明
風景	緑色と青色が鮮やかに表現できます。
ポートレート	ポートレート撮影に最適です。
夜景ポートレート	夜間や暗い条件下で人物を撮影するとき、ASCN は人物と背景の明るさを最適に自動調整します。
逆光のポートレート	太陽またはその他の光源が被写体の背景にある場合、ASCN は前景の露出を自動的に調整して人物が暗くならないように撮影します。
夜景	夜景の場合、ASCNはISO値を自動的に上げて、手ブレを押さえて夜景をきれいに撮影します。
マクロ	小さな被写体をアップで撮影できるように ASCN は自動的にピントを合わせます。
自動	被写体の明るさに応じて最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。

自動モードでの撮影

自動モードは、撮影に使用するもっとも簡単なモードです。このモードで操作している間、カメラは画像を自動的に最適化します。

自動モードで撮影するには、次の手順でおこないます。

1. オートモードを選択するには **mode** ボタンを押して を選択して **SET** ボタンを押します。
2. 液晶モニターで被写体の構図を決めます。シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、被写体にピントを合わせます。
3. 被写体に焦点が合うと、液晶モニターの中央部に緑色のAFフレームが表示されます。
4. シャッターボタンを静かに全押しして、画像を撮影します。

ズーム機能を使用する

カメラには光学ズームとデジタルズームの二種類のタイプのズームが装備されています。カメラ上面部のズームレバーを回して、被写体を拡大させたり、縮小させたりして撮影することができます。

ズームインジケーター（43ページのデジタルズームを参照してください）

光学ズームが最大値に達すると停止して、一旦ズームボタンから指を離し、再度同じ方向に T 端に回すと、自動的にデジタルズームに切り替わります。

基本機能メニュー

カメラの基本機能のメニューには、フラッシュ、セルフタイマー、マクロ、連続撮影機能が含まれています。

基本機能メニューの設定は、次の手順で行ないます。

フラッシュモード

1. 機能メニューに入るためには右/フラッシュボタンを押してください。

- 発光禁止
  暗いところでも発光しません。
- 自動発光
  暗いときや逆光のときフラッシュが自動的に発光します。
- 強制発光
  すべての条件下で発光します。逆光で撮影するときに適しています。
- スローシンクロ
  夜景を背景に人物撮影するときに適しています。シャッタースピードを遅くして背景をきれいに写します。
- スローシンクロ+赤目軽減
  スローシンクロ撮影時に人物の赤目現象を軽減できます。
- 赤目軽減
  予備発光を行い、目が赤くなる現象を軽減します。

2. 左/右ボタンで機能を選択し、**SET** ボタンで決定します。

セルフタイマーの設定

自分も一緒に写りたい時やシャッターボタンを押す時の手ぶれを軽減したいときはセルフタイマーが便利です。タイマー時間は2秒、10 秒、笑顔モードから選べます。三脚の使用をおすすめします。

1. セルフタイマー機能メニューに入るには、 ボタンを押してください。

2. セルフタイマの機能メニューに入るには上/下ボタンを押します。

3. セルフタイマの機能メニューを選択するには左/右のボタンを押します。

- セルフタイマー オフ
  セルフタイマー機能をオフにします。

- セルフタイマー 2秒
  シャッターボタンを全押しすると、2秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

- セルフタイマー 10秒
  シャッターボタンを全押しすると、10秒後にシャッターが切れて、撮影が終了します。

- セルフタイマー スマイル
  笑顔を検出するとシャッターが切れます。

4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

マクロモード

マクロモードでは被写体に近づいて大きく、細部を撮影することができます。

1. マクロ機能メニューに入るには、 ボタンを押してください。

2. 機能ボタン左/右を押して、2種類のモードから選択することができます：

 マクロ オフ

マクロ機能をオフにします。

 マクロ オン

マクロモードオンの設定により、レンズ前約5cmまでの被写体にピントを合わせることができます。

3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

機能SET設定

手動モード（M）で露出値（EV）を設定してより良い画質の写真と動画が撮影できます。

露出補正

露出値（EV）を変更して画像の明るさを調整することができます。被写体と背景の明暗の差が大きい場合に明るさを調整します。

1. 機能設定 SET に入るには SET ボタンを押します。

2. 上/下ボタンでEV値を選びます。
3. 露出値の調整可能範囲は-2.0EVから+2.0EVまでです。

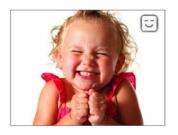
ISO感度

ISO感度の変更は、被写体の明るさに応じて設定します。暗い環境での撮影には、ISO値を高くする必要があります。これとは反対に、明るい環境ではISO値を低くする必要があります。(ISO感度の設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます)。

ISO感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

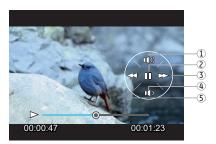
ISO感度は自動、64、100、200、400、800、1600から選択できます。

まばたき検出

まばたき検出機能は、工場出荷時にオンに設定されています。画像を撮影した後、まばたきが検出されると、まばたき検出アイコン が液晶モニターに表示されます。

静止画と動画を見る

撮影された静止画や動画を液晶モニターに表示するには、次の手順で行ないます。

1. 撮影モードの状態で、再生ボタンを押すと再生モードに切り替わります。画面には最後に撮影した静止画及び動画が表示されます。
2. 機能ボタン左/右を押して、メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を選択して表示します。
3. 選択された動画を再生するには、SET ボタンを押して動画再生モードに入ります。

動画再生中は、画面に操作ガイドが表示されます。機能ボタン左/右と SET ボタンを押して、操作機能の変更ができます。

下記に操作機能を表示してあります。

1	音量を上げる	4	音量を下げる
2	一時停止	5	巻戻し
3	早送り		

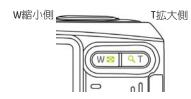
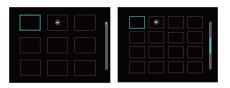
動画を再生する時、機能ボタン上/下を押して、再生音量を調整し、消音になるとき、 が表示されます。

下記に操作機能を表示してあります。

1.音量を上げる

2.音量を下げる

サムネイルビュー

再生モードでズームレバーをW側に回すと、液晶モニターに静止画と動画のサムネイル画像が表示されます。

1. ズームボタンを押すごとに、画像は3x3、4x4と日付フォルダーのサムネイル表示に切り替えます。
2. 3x3、4x4のサムネイル画像が表示されるとき、上・下・左・右ボタンを押して、静止画または動画を選択します。

3. 4x4の画像が表示されたら、Wに切り替えることで、日付の再生に入ってください。

4. 上・下・左・右ボタンを押して、静止画または動画を選択します。SET ボタンを押して再生画面に戻ります。

日付フォルダーは撮影の日付の順番で表示します。

液晶モニターに ▷ のアイコンが表示されているときは動画画像です。

サムネイル画像を選択した後、SET ボタンを押して、画像がフルサイズで表示されます。

画像を拡大する（静止画専用）

ズームレバーは再生中にも使用できます。画像を8Xまで拡大することが可能です。

1. ▶ ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、拡大する静止画を選択します。
3. ズームレバーをT側に回して画像を拡大すると、液晶モニター右上に倍率（2.0X）が表示されます。また画面右下に、画像全体のどの部分を表示しているかを示す画面位置表示（案内マーク、藍色口）が表示されます。機能ボタン左/右、上/下を押して、お好みの場所を見ることができます。
4. 拡大した画像を縮小するときは、 SET ボタンを押します。またズームレバーをW側に繰り返し回しても画像を縮小できます。

動画は拡大できません。

画像を消去する方法

再生モードで、消去／機能ボタン下を押して、静止画と動画を消去することができます。

静止画または動画の消去：

1. [▶] ボタンを押して、再生モードに切り換えます。
2. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。
3. 消去／機能ボタン下を押して、消去画面が表示されます。

4. 機能ボタン上/下を押して、「1枚削除」または「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

消去された静止画/動画は回復することができません。

1回の操作ですべての静止画/動画を消去するには、47ページのすべて消去機能を参照してください。

静止画メニュー

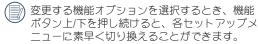
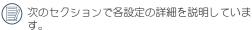
撮影モードアイコン： M

撮影モードで func menu ボタンを押すと、、セットアップメニューが表示されます。

各種設定の手順：

撮影メニューとカメラの設定メニューを切り替えるには、上/下ボタンを押してください。左/右ボタンで機能を選択します。SET ボタンを押します。

変更する機能オプションを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

次のセクションで各設定の詳細を説明しています。

画像サイズの設定

サイズ設定は、ピクセルで画像解像度を設定します。画像解像度を高くすれば、画像品質を低下させずに大きなサイズで画像を印刷できます。

画像サイズを次の8種類から選択します。
「14M 高品質印刷」、
「12M 3：2フルサイズ印刷」、
「10M 16：9フルサイズ印刷」、
「8M A3印刷」、「5M A4印刷」、
「3M 10cm×15cm印刷」、
「2M 16：9ハガキ」「0.3M 電子メール」

記録されるピクセル数が大きくなれば、それだけ画質もよくなります。 記録されるピクセル数が小さくなれば、それだけメモリーカードに多くの画像を保存できます。

コンティニュアスAF

コンティニュアスAF機能がオンになっている状態では、動きのある被写体に対して自動的にピントを合わせ続けます。

2つのオプションがあります:

- オフ
- オン

連続撮影設定

この設定により、連写（連続撮影）を行います。シャッターボタンを全押ししている間、連写を行います。

2つのオプションがあります:

- 1枚
  1コマのみを記録します。
- 連写
  最大画素数で毎秒2.3枚撮影します。

オートフォーカスの設定

2つのオプションがあります:

- シングル AF
- マルチ AF

画像の色設定

画像の色の設定では、異なった色効果を選択することができます。

画像の色設定のにはは、次の4つがあります:

- ノーマル
- 鮮明
- セピア
- 白黒

色彩の設定はカメラが **M** モードに入っているときのみ使用できます。

ホワイトバランス設定

ホワイトバランスはカメラが手動モード（M)の時のみ設定可能です。

1. 機能ボタン左/右を押して、7種類のモードから選択することができます：
   - AWB
   - 晴天
   - 曇り
   - 蛍光灯
   - 冷白色蛍光灯
   - 白熱灯
   - 手動 ホワイトバランス
2. 手動を選択すると画面に「シャッターボタンを押してWB（ホワイトバランス）をセットします。」と表示されます。シャッターボタンを全押しすると、自動的にホワイトバランスを調整します。SET ボタンを押して、設定を確定します。

WB設定はカメラが M モードに入っているときのみ使用できます。

設定メニュー

撮影モードアイコン：

撮影メニューに入るためには、(func menu) ボタンを押してください。

1. 撮影メニューを切り替えるには上/下ボタンを押してください。

2. メニューを設定するには、SET か右ボタンを押してください。

画質の設定

画質設定メニューによって画像の圧縮率を調整することができます。高画質に設定するほど優れた画像が得られますが、より多くの記録スペースを使います。

画質を次の3種類から選択します:

•精細

•標準

•普通

AFアシストビーム

この設定により、暗所でも焦点を合わせることができます。オンを選択するとAFアシストビームがオンになり、オフを選択するとこの機能が無効になります。

AFアシストビームがオンになっているとき、シャッターボタンを半押しすると、カメラは被写体にAFビームを投射してピントを合わせ易くします。

デジタルズーム

この設定により、デジタルズーム機能のオン/オフを切り換えることができます。デジタルズームがオフになっているとき、光学ズームのみが使用できます。

日付写し込み

撮影と同時に日付と時間を画像に写し込みます。

- オフ
- 日付
- 日付/時刻

レビュー

この設定により、直前に撮影した画像を見ることができます。画像が画面に表示されている時間を変更することができます。

4種類のメニューから選択することができます。

- オフ
- 1秒
- 2秒
- 3秒

動画メニュー

動画モードアイコン：

動画モードを選択するには、mode ボタンを押し を選択し、SET ボタンを押します。

1. メニューに入るためには、 ボタンを押します。

2. 上/下ボタンでメニューを選択します。
3. 左/右ボタンで機能を選択します。SET ボタンを押します。

画像サイズ

サイズの設定により、画像の解像度が変わります。

高画質の画像記録に必要なSDカードのクラス：

No.	画像サイズ	駒/秒	必要最小クラス	推奨
1	1280x720	30	Class 2	Class 4

1280x720 30fps 以上のサイズの録画時間は最長29分です。

再生メニュー

再生モードアイコン: [▶]

再生モードで (func menu) ボタンを押して、セットアップメニューが表示されます。

1. 再生メニューを切り替えるには、上/下ボタンを押してください。
2. 再生設定メニューへ入るには、SET か右ボタンを押してください。

次のセクションで各設定の詳細を説明しています。

保護

静止画や動画が誤って消去されないように、この設定を使用して一枚またはすべてのファイルを保護することができます。

静止画または動画を保護/保護解除するには、次の手順でおこないます。

1. 機能ボタン上/下を押して、保護を選択し、機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。
2. 機能ボタン上/下を押して、4種類のメニューから選択することができます。
   - 1枚
   - 日付フォルダー
   - すべて
   - リセット

3. 1枚を選択し、SET ボタンを押すと、「保護1枚」と「戻る」が表示されます。機能ボタン上/下を押して、「保護1枚」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
4. 「戻る」を選択し、SET ボタンを押すと再生セットアップメニューが表示されます。
5. 画面上部に保護アイコン が表示されると、静止画/動画が保護されていることを示します。
6. 日付フォルダーを選択すると、「日付フォルダー」と「戻る」が表示されます。「日付フォルダー」を選択すると、日付フォルダー保護されます。
7. すべてを選択すると、「すべて保護」と「戻る」が表示されます。「すべて保護」を選択すると、すべて保護されます。
8. 「リセット」を選択すると、保護モードに指定されたすべての画像の保護を解除します。

消去

ファイルの削除には、3つのオプションがあります。

⚠ 消去されたファイルは回復できません。

- 1枚消去:

1. 再生セットアップ項目の詳細手順は保護と同様におこなってください。
2. 1枚を選択してから SET ボタンを押します。
3. 機能ボタン左/右を押して、消去する静止画または動画を選択します。機能ボタン上/下を押して、（画像を消去する場合は）「1枚削除」を、（前のメニューに戻る場合は）「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

- 日付フォルダー消去:

1. 日付フォルダーを選択して、SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、消去する日付フォルダーを選択します。SET ボタンを押して消去画面が表示されます。
3. 機能ボタン上/下を押して、（日付フォルダーを消去する場合）「はい」を、（前のメニューに戻る場合）「取消」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

- すべて消去:

1. すべてを選択してから SET ボタンを押します。
2. 機能ボタン上/下を押して、（すべての画像を消去する場合は）「すべて消去」を、（前のメニューに戻る場合は）「戻る」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

保護アイコン が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

画像を消去すると、DPOF設定はリセットされます。

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)

DPOFにより印刷するために選択した静止画を記録し、それをメモリーカードに保存することにより、メモリーカードをプリントショップに手渡すだけで済み、どの画像を印刷するかを指摘する必要はありません。

3種類のメニューから選択することができます。

- 1枚 ： プリント予約（画像、枚数、日付等）をする画像を一枚づつ選択します。
- すべて： すべての画像をプリント予約します。
- リセット ： プリント予約を解除します。

画像のトリミング

トリミング機能により、撮影した画像の不要な部分を切り取ります。トリミングした画像は別の画像として保存されます。

画像をトリミングするには、次の手順でおこないます。

1. カット機能選択。
2. カットを確認するために、"はい"を選択し、ズームレバーと方向ボタンを使用してカットする部分を決めます。

3. SET ボタンを押して、「変更を保存しますか？」と表示されます。「はい」、「いいえ」を選択して SET ボタンを押して、設定を確定します。

画像サイズが「640×480」以下の場合はトリミングできません。

回転して方向変更した画像はトリミングできません。

赤目補正

カメラには赤目補正の機能が搭載されています。人物撮影で赤目の現象が発生したときに赤目の部分を補正します。

1. 再生モードで左/右ボタンを使って赤目軽減したい写真を選びます。
2. func menu メニューでは、設定するために を選択し、SET ボタンをおして設定画面に入ります。
3. 左/右ボタンでキャンセル、戻り、再生を選択します。

：赤目軽減

：取消

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

被写体ができるだけカメラの正面を向くようにすると、赤目現象は大幅に補正できます。

動画画像は赤目補正ができません。

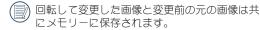
画像回転

選択した画像の方向（縦横位置）を設定します。

1. 再生モードで、左/右ボタンを使って画像を回転します。
2. を選択し SET ボタンをおして設定画面に入ります。
3. 回転方向を選択するには左/右ボタンを押します。

：右回転　：左回転　：取消

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

回転して変更した画像と変更前の元の画像は共にメモリーに保存されます。

パノラマ合成した画像を回転させることはできません。

動画ファイルは向きを回転させることができません。

スライドショー

この設定により、保存されているすべての画像をスライドショーとして表示できます。

1. 再生画面に入るには、 ボタンを押します。
2. スライドオプションに入るには、SET ボタンを押します。
3. スライドの再生を選択するには、左/右ボタンを押してください。

•効果1：間隔1秒

•効果2：間隔1秒

•効果3：間隔1秒

4. SET ボタンを押して設定を確定します。

カメラ設定メニュー

モードアイコン：

各モードとも、func menu ボタンで設定メニューに入ります。上/下ボタンで を選択し **SET** ボタンを押します。そして上/下ボタンで 基本設定を選択します。

設定を行なうには、次の手順でおこないます。

1. **SET** ボタンまたは右ボタンをおして設定メニューに入ります。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューに入ります。
3. 機能ボタン上/下を押して、オプションを選択します。機能ボタン左あるいは func menu ボタンを押して、セットアップメニューに戻ることもできます。

変更する機能オプションを選択するとき、機能ボタン上/下を押し続けると、各セットアップメニューに素早く切り換えることができます。

操作音

電源をオン/オフする音、シャッター音を調節するにはこの設定を使用します。設定の変更は次の手順で行います。

1. 一般的なセットアップメニューから操作音を選択します。

2. ボリュームタイプを選択するために上/下ボタンを押してください：

 • トーン1
 • トーン2
 • トーン3

3. 右ボタンを押し、上下ボタンで音のレベルを選択し、SET ボタンで決定します。

音のタイプを選択した後でシャッター、キートーン等を一緒に変更できます。

省電力

この設定により、電力を節約し、電池寿命を延ばすことができます。以下のステップに従って液晶画面をオフにすると、カメラは一定時間の後自動的に停止状態になります。

1. 一般的なセットアップメニューから省電力を選択します。
2. サブメニューには「自動」、「普通」、「最大」が表示されます。

3. サブメニューで、各オプションを選択すると、下記の通りに表示されます。
4. SET ボタンを押して、設定を確定します。

言語設定

13ページの「言語設定」を参照してください。

ワールドタイム

世界時間の設定は、海外旅行に役立ちます。この機能により、海外にいる間、液晶画面に現地時間を表示することができます。

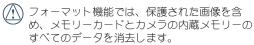
1. 一般的なセットアップメニューからワールドタイムを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、自宅を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。
3. 機能ボタン上/下を押して、現地（訪問先）を選択し、機能ボタン左/右を押して、同じ時間帯の都市を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。都市をを設定するだけで時差は自動的に処理されます。

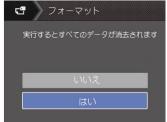
日時設定

14ページの「日時設定」を参照してください。

ファイル・ソフトウェア

フォーマット

フォーマット機能では、保護された画像を含め、メモリーカードとカメラの内蔵メモリーのすべてのデータを消去します。

設定を変更するには、次の手順でおこないます。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからフォーマットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

3. メモリーカード（メディア）も初期化されます。
4. メモリーカードがない場合、内蔵メモリーをフォーマットします。メモリーカードがある場合、メ モリーカードのみフォーマットしません。

カードへコピーする

この設定により、内蔵メモリーに保存された画像をメモリーカードにコピーします。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからコピーを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

カメラにカードを挿入しない場合は、この機能が表示されない。

ファイル名

静止画または動画を記録した後、カメラはメモリーカードにファイルを自動的に保存します。保存するとき、数字が撮影した最後の画像から続くか、新たにカウンタを 1にリセットして、新しいフォルダに保存するかを決定することができます。
（メモリーカード内のファイルが9999を超えて、そして最後のファイルの写真が999枚を超えた場合、警告がメモリカードがいっぱいになっていることが示されます。）

1. ファイル・ソフトウェアメニューからファイル名を選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

リセット設定

この設定により、カメラを出荷時の設定に戻します。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからリセットを選択します。
2. 機能ボタン上/下を押して、「はい」または「いいえ」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

FW/バージョン

この設定により、現在のカメラのファームウェアバージョンの表示または更新します。

1. ファイル・ソフトウェアメニューからFW/バージョンを選択します。

2. 新ファームウェアーバージョンをインストールした時は、画面に新バージョンが表示されます。
3. 画面に新ファームウェアーバージョンが表示されたときは、「はい」または「取消」を選択し、SET ボタンを押して、設定を確定します。

電池残量が少ない時は、ファームウェアを更新することはできません。

PCに接続する

撮影した画像をコンピューターに送信するためにUSBケーブルを使います。

USBモードを設定する

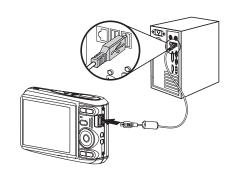
カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定ができていることを確認します。

1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、PCを選択します。
3. SET ボタンを押して設定を確定します。

PCにファイルを転送する

コンピュータは、リムーバブルドライブとしてカメラを自動的に認識します。デスクトップのマイコンピュータアイコンをダブルクリックしてリムーバブルドライブを検索し、一般的なフォルダやファイルをコピーするPCのディレクトリにドライブのフォルダとファイルをコピーします。

USBケーブルを使用することによって、撮影した静止画と動画をPCに転送することができます。以下のステップに従って、PCにカメラを接続します。

1. カメラとPCがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB/AV端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をPCの空きUSB端子に接続します。

4. 転送が完了したらケーブルを取り外します。

USBオプションが[PC]に設定されている場合:

カメラをオフにし、USBケーブルを抜きます。

ウィンドウズ・オペレーティングシステム（ウィンドウズ2000、ウィンドウズXP、ウィンドウズ・ビスタ、ウィンドウズ7）

（ハードウェアーを安全に取り外す）アイコンをクリックし、現れたメニューにしたがってUSBコネクター(接続)を取り外します。

Macintosh

ごみ箱に無題のアイコンをドラッグします。
("無題")

PictBridge互換プリンターに接続する

PictBridgeにより、画像をデジタルカメラのメモリーカードからどのブランドのプリンターにも直接印刷できます。プリンターがPictBridge互換かどうかを調べるには、パッケージでPictBridgeロゴを探すか、マニュアルの仕様をチェックします。カメラにPictBridge機能が搭載されていることで、付属のUSBケーブルを使用してPictBridge互換プリンターで記録した画像を直接印刷することができます。PCは必要ありません。

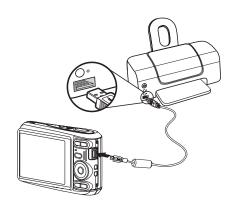
USBモードを設定する

カメラのUSB端子は、PCまたはプリンターと接続ができます。次のステップにより、カメラをPCに接続して正しく設定がされていることを確認します。

1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン左/右を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、USB接続を選択します。
2. SET/機能ボタンを押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、プリンターを選択します。
3. SET ボタンを押して設定を確定します。

カメラをリセットすると、USBモードからPC接続モードに自動的に切り替わります。

カメラとプリンターを接続する

1. カメラとプリンターがどちらもオンになっていることを確認します。
2. 付属のUSBケーブルの一方の端をカメラのUSB端子に接続します。
3. ケーブルの他の端をプリンターのUSB端子に接続します。

カメラがPictBridge互換プリンターに接続されていない場合、液晶モニターに次のエラーメッセージが表示されます。

USBモードが正しく設定されていない場合も上のエラーメッセージが表示されます。その場合、USBケーブルを抜き、USBモード設定をチェックして、プリンターの電源がオンになっていることを確認してから、USBケーブルを再び接続します。

ビデオシステム

この設定を使用して、現在の地域のビデオシステムを選択します。

1. (func menu) ボタン押して、セットアップメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、転送メニューを選択し、機能ボタン上/下を押して、ビデオシステムを選択します。
2. 機能ボタン右を押して、サブメニューが表示されます。機能ボタン上/下を押して、「NTSC」あるいは「PAL」を選択します。
3. SET ボタンを押して、設定を確定します。

カメラは、地域によって2つの異なるビデオ出力信号「NTSC」または「PAL」に適応しています。

NTSC ：米国、カナダ、台湾、日本など。

PAL ：ヨーロッパ、アジア(台湾を除く)、オセアニアなど。

正しいビデオシステムが選択されていない場合、TV出力は正しく表示されません。

PictBridgeメニューを使用する

USBモードをプリンターに設定すると、5種類の DPSメニューが表示されます。

1.日付印刷

2.日付なし印刷

3.サムネイル画像を印刷する

4.DPOF画像を印刷しますか

5.戻る

機能ボタン上/下を押して、DSPメニューを選択します。

すべての設定の詳細については、次の項を参照してください。

日付印刷

カメラの日時設定を行なうと、撮影したすべての画像が日時付きで保存されます。日時付きで画像をプリントアウトするには、次の手順でおこないます。

1. DPSメニューで、「日付印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付印刷する画像を選択します。

3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

日付なし印刷

この設定により、日付を入れずに画像が印刷されます。

1. DPSメニューで、「日付なし印刷」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 機能ボタン左/右を押して、日付なし印刷する画像を選択します。
3. 機能ボタン上/下を押して、選択した画像の印刷枚数を決定します。
4. SET ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

5.「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

サムネイル画像の印刷

この機能により、カメラのサムネイル画像の印刷ができます。

1. DPSメニューで、「サムネイル画像を印刷する」を選択します。次の画面が表示されます。

2.「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

DPOF画像の印刷

DPOF画像を印刷するには、前もってDPOF設定で画像を選択してください。（48ページのDPOFを参照してください。）

1. DPSメニューで、「DPOF画像を印刷しますか」を選択します。次の画面が表示されます。

2. 「はい」を選択すると印刷が開始します。「取消」を選択すると、印刷をキャンセルします。SET ボタンを押して、設定を確定します。

USBケーブルを取り外す

DPSメニューを終了するには、「戻る」を選択します。「USB接続ケーブルを外します」メッセージが表示されます。

画面にこのメッセージが表示されると、カメラとプリンターからUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

仕様

「外観と仕様の一部を将来予告なしに変更することがあります。」

項目		仕様
カメラ部有効画素数		1414万画素
撮像素子		1/2.3"CMOS（総画素数 1448万画素）
レンズ	焦点距離	4.9～19.6mm
	35mmフィルム換算	27～108mm
	開放F値	F3.0～F6.6
	レンズ構成	7群 7枚
	光学ズーム	4倍
	撮影範囲	通常撮影（W）60cm～∞ (T) 100cm ~ ∞ マクロ: 5cm ~ ∞（Wのみ）
手ブレ補正		DIS
デジタルズーム		6倍 （光学4倍と併用して最大24倍）
記録画素数（画像サイズ）	静止画	14MP: 4320×3240, (3:2)12MP: 4320×2880, (16:9)10MP: 4320×2432, 8MP: 3264×2448, 5MP: 2592×1944, 3MP: 2048×1536, (16:9)2MP: 1920×1080, 0.3MP: 640×480
	動画	720p30, 720p15, 640×480, 320×240

画質		精細画質、標準画質、普通画質
DCF、DPOF (Ver1.1)サポート		○
ファイル形式	静止画	Exif 2.2 (JPEG)
	動画	動画フォーマット: MOV (Motion JPEG), オーディオ: G.711 [モノラル]
撮影モード		自動、手動、SCN [Auto SCN、風景、スポーツ、ビーチ、夕日、花火、夜景、雪、子供、IDカード、ガラス越し、フォトフレーム、流し撮り、資料、ポートレート、魚眼、パーティ、屋内、植物、博物館、夜景ポートレート、スケッチ、ブレ軽減]、全景、動画
感知特徴		顔、頬、まばたき
赤目軽減		○
パノラマ	静止画	○(水平)
	画角	0°~ 180°
液晶モニター		2.7inch (230k 画素)
ISO感度		自動, ISO64/100/200/400/800/1600
AF方式		シングルAF、マルチAF, (TTL 9-点)、顔検出AF、AF補助光(オン/オフ)

測光方式		人工知能AE （AiAE)、顔AE
露出制御方式		プログラムAE （AE-Lockロック可能）
露出補正		±2 EV(1/3ステップ刻み）
シャッター速度		1/2000 ~ 4 秒
連写		○
再生モード		静止画、サムネイル （9/16） 、スライドショー、動画、撮影日時
		拡大 (約. 2x ~ 8x)、ヒストグラム表示
ホワイトバランス制御		AWB、晴天、曇り、蛍光灯、冷白色蛍光灯、白熱灯、手動
フラッシュ	フラッシュ方式	内蔵
	フラッシュモード	自動発光/赤目軽減発光/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減発光+スローシンクロ
	撮影範囲	(ワイド) 約. 0.3m ~ 5.2m (ISO800) (テレ) 約. 0.5m ~ 2.4m (ISO800)

記録メディア	内蔵メモリー: 8 MB
	SDカード/SDHCカードカード(32 GBまでサポート） [MMC カード不可]
その他の機能	ピクトブリッジ、ExifPrintで応用、複数言葉で応用 （25 言語）
入出力端子	AV-OUT/USB 2.0 (Micro 5 pin USB)
電源	単三形アルカリ電池 （2個使用）単三形NiMH電池[別売]
撮影性能 （電池性能）	単三形アルカリ電池: 約160ショット（CIPA標準に基づく）
	単三形NiMH電池: 約400ショット（CIPA標準に基づく）
動作環境	温度：32 ~ 104°F / 0～40℃ 湿度：90%以下 （結露しないこと）
寸法(幅 × 高さ × 奥行き）	約. 93.0×60.2×26.6mm (CIPAの標準による)
重量	約4.1oz. / 116g （本体のみ）
付属品 (国或は地域によって異なる)	単三形アルカリ電池、USB ケーブル
	リストストラップ
	ｸｲｯｸスタートガイド、保証書

エラーメッセージ

メッセージ	説明
カードエラー	・メモリーカードの画像フォーマットを識別または読み込みできません。 ・新しいメモリーカードと交換するか、または本機でカードをフォーマットしてください。
メモリーカード残量なし	・メモリーカードがいっぱいで、新しい画像を保存できません。
ピクチャーエラー	・画像が正しく記録されていません。 ・画像が損傷しています。
ピクチャーなし	・メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がありません。
レンズエラー	・レンズのつまり、引っ掛りにより、カメラの電源が自動的にオフになります。
システムエラー	・予期せぬエラーが発生しました。
照準外です	・メモリーカードの書き込み保護スイッチが「ロック」位置にセットされています。

メッセージ	説明
メモリーカードがフォーマットされていません。フォーマットしますか?	• メモリーカードのフォーマットを確認してください。(フォーマットの詳細は 61 ページをご参照してください) 。
画像を消去できません	• 消去しようとしている静止画や動画が書き込み保護されています。
警告 カメラ録画中。お待ちください。	• 動画/音声の録画中、他の操作は実行できません。
警告 バッテリーがありません	• 電池切れです。 • 電池が充電切れです。
ファイルを再生できません	• 画像 (メモリーカード) がカメラで認識できません。
接続なし	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷エラー	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。
印刷できません	• プリンターが用紙またはインク切れでないことを確認してください。 • プリンターの用紙が詰まっていないかどうか確認してください。

困ったときには

問題	考えられる原因	解決法
カメラがオンにならない。	• 電池切れです。 • 電池が正しく挿入されていません。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。 • 電池のプラスとマイナスを確認しながら電池を挿入します。
操作中にカメラが突然オフになる。	• 電池切れです。	• 新しい電池に交換してください。 • 電池を充電するか、完全に充電されたものと交換してください。
写真がぼやける。	• レンズが汚れています。 • 手ブレ、被写体ブレになっています。	• 柔らかい布を使用して、カメラのレンズを軽く拭いてください。 • OIS 手ブレ補正を有効します。
静止画、動画ファイルを保存することができません。	• メモリーカードの残量がありません。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードのロックを解除してください。
シャッターボタンを押しても画像を撮影できない。	• メモリーカードの残量がありません。 • ファイルを保存する空き容量がありません。 • 再生モードになっています。	• メモリーカードを新しいものと交換してください。 • 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードがロックされています。 • モードボタンを押して、静止画撮影モードを選択します。
接続したプリンターから画像を印刷できない。	• カメラがプリンターに正しく接続されていません。 • プリンターがPictBridge互換でありません。 • プリンターが用紙またはインク切れです。 • 用紙詰まりです。	• カメラとプリンターの接続を確認してください。 • PictBridge互換プリンターを使用してください。 • プリンターに用紙を補給してください。 • プリンターのインクカートリッジを交換してください。 • 詰まっている用紙を取り除いてください。

問題	考えられる原因	解決法
メモリーカードの書き込み速度が遅い	• クラス4以下のメモリカードでHD以上の動画を記録する場合、書き込みスピードが遅くなって、記録できない可能性があります。	• SDHCカードを使用して、または、このメモリーカードをフォーマットしてください。
メモリカードに書き込むことができません	• メモリーカードが書き込み保護されています。 • 静止画/動画を撮影するとき、メモリーカードの書き込みが中止（記録速度が遅すぎるなどの原因で）になって、撮影できなくなります。	• カードの書き込み保護スイッチをオフにしてください。 • ハイクラスのメモリーカード（Class 4以上）に切り替えてください。
日付フォルダーの再生はできません	• 日付フォルダーで再生する時、メモリーカードで保存されている画像数或いはフォルダー数が規格を超えて、日付フォルダーの再生はできません。	• 不要な画像を消去してください。 • メモリーカードにある一部分の画像を他の場所へ移動して保存してください。

http://www.ge.com/digitalcameras

imagination at work

Printed in China

Follow us on @ GE Cameras | @ GECamera | @ gedigitalcameras